

一般社団法人  
島田建設業協会広報誌

# wvista

vol. 146

平成28年1月1日発行

## 新年のご挨拶

一般社団法人島田建設業協会会長 木村 紘一  
一般社団法人島田建設業協会副会長 朝倉 純夫  
一般社団法人島田建設業協会副会長 橋本 勝策  
一般社団法人島田建設業協会副会長 大石 刃吉

意見交換会

現場紹介

言いたい放題

トピックス・防災日誌・協会だより



# 謹賀新年



一般社団法人  
島田建設業協会会長

木村 紘一

平成28年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃から、当協会の運営と活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、一昨年の消費税増税や昨年のTPP大筋合意など、日本経済を取り巻く状況が変化を続ける中、現下の建設業を取り巻く環境はその良い影響を体感することは難しく、依然として厳しい状況が続いております。

一方、担い手三法の改正により、発注者の責務が明確化されたことによる効果が各所に現れはじめ、協会員が事業所を構える自治体においても、低入札価格調査制度や中間前金払い制度の導入をはじめ

め、若手技術者の確保・育成への取り組みが始まるなど、業界に良い兆しも見えはじめています。

しかし、建設業の担い手不足という大きな問題は、東京オリンピック施設整備の本格化などにより、さらに深刻化することが憂慮され、業界全体での早急な対応策を真剣に考えなければならない時が訪れています。

建設業には、防災・減災、老朽化対策、耐震化などの災害を事前に防ぐ地域防災の担い手としての役割がますます期待されています。

当地域においても、小・中学校の屋内運動場の耐震化や橋梁の耐震化・修繕などの防災に関連する工事や設計などが着々と進み、レベル1津波対応となる防潮堤整備の仮設工事が発注されるなど、人命

を守る対策が各所で具体的に進められています。

また、2014年10月に発生した台風18号・19号の影響を受けた箇所の災害復旧が現在でも行われている中、昨年台風が発生し、島田市や川根本町で土砂崩れによる被害が発生しました。

どんなに対策が進んでも、災害の発生については予想ができないことを思えば、どんな時にでも対応できるように日々備えていくことが重要だと再認識させられる次第であります。

このような災害対応の観点からも、私たちのような地域に根差した建設業者の存在があるからこそ、緊急時に地域への迅速な対応ができるのであり、これこそが建設業の果たすべき使命のひとつであります。だからこそ、現在の公共事業の減少や競争ばかりが進むような状況を改善し、災害時に対応できる施工力をもった企業の減少を食い止めなければなりません。

業界も厳しい状況が続く、会員の皆様も厳しい経営環境の中で努力されていることと思いますが、本年も皆様の協力を得ながら、調和のとれた協会運営に努めてまいりたいと思っております。

本年もよろしくお願いたします。



一般社団法人

島田建設業協会副会長

朝倉 純夫

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、会員の皆様方には協会運営・事業活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。ありがとうございました。

昨年も、国内各地において災害が発生いたしました。

既に災害対策における構造物は、熟成されたかのように言われて来ましたが、経年劣化と共に、予想以上の地球環境の変化で、尊い人命と共に残すべき歴史的構造物が流失をしています。

我々業界、分けても地元の建設業界として災害対応、地元住民の皆様の安全確保は使命であります。

常にこの事を念頭に、協会活動をしております。

昨年は、志太榛原農林事務所、島田土木事務所と久しぶりに「意見交換会」を開催し、また、国土交通省静岡国道事務所、浜松河川国道事務所様には、要望書を提出させていただきました。

いづれも、有事の際の活動「災害協定」の確認、その為には業界の今までのあり方、そして技術の伝承、入職者を増やす算段等々、多岐に渡って時間を掛けての会は、今後の協会運営にとつて非常に意義のあるものとなりました。

今年も、ご指導を頂きながら、多方面に活動展開をして行きたいと考えております。

今年が会員の皆様にとつて、佳き年でありませうよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人

島田建設業協会副会長

橋本 勝策

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族、従業員の皆様共々お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、協会の運営や事業活動に格別のご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、昨年も我が国では様々な大きな出来事がありました。国の将来にかかわる安全保障関連法の成立、TPP協定の大筋合意、そして聞き慣れない線下降水帯での関東・東北大豪雨等々です。

建設業関係で言えば、建設費が3千億円と見込まれた新国立競技場建設計画が白紙撤回になり、また、10月には横浜市内のマシンの杭打ち工事の偽装が発覚するなど、建設業界にとつて社会から厳しい目で見られる状況になってしまいました。

長年にわたる公共事業の削減により、やむなく建設業従事者や機械設備を減らさざるを得なかったところへ、東日本大震災の復興や2020年東京オリンピック開催など特定の地域の建設特需により人件費や資材が高騰するなど、恩恵に預かれない地方にとつては、今後とも厳しい状況が続くものと思われまふ。

しかし、愚痴ついてもはじまりません。昨年の様々な出来事の中で数少ない明るいニュースの一つは、ラグビーワールドカップでの日本チームの活躍でした。

押し倒されても突き飛ばされても、前へ前へとボールを運ぼうとする気迫・勇気は、久しぶりに私に感動を与えてくれました。私たちがも負けてはいられません。今年一年、協会員がスクラムを組んで一歩でも着実に前進していきたいと思ひます。

皆様にとりまして、幸多き年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年も、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



一般社団法人

島田建設業協会副会長

大石 卯吉

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新春を迎えられれこととお慶び申し上げます。

昨年は、地球温暖化の影響により各地で異常高温、猛暑日が続いたり、大雨などによる自然災害が多発し、改めて温暖化の脅威を感じた人も多いのではないだろうか。

今年の干支は「丙申」ですが、物事が進歩発展し成熟に至るまでの伸びを表すと「申(サル)」は「去る」を意味し、悪いことが去つて幸を運ぶという説もあり、是非「丙申」にありたいものです。

さて、建設業を取り巻く環境は非常に厳しく、政府、民間を含めた建設投資は1992年度の84兆円をピークに年々減少し、現在ではピーク時の約50%まで減少しています。

また、業界の課題である人手不足や資材の高騰などの影響もまともに受け、厳しい価格競争等による利益率の低下などで経営悪化が懸念されます。

このような状況の中、私も建設業が国民生活の安心・安全確保を支えるという大きな使命を担うため、また建設業の生き残りを図るため事業の抜本的な見直しを求められており、その具体的取組が必要となっています。

どうか、本年も厳しい経営状況が続くと思ひますが、会員の皆様方が一体として発展して行くよう協会の運営に携わつていきたいと思ひますので、会員の皆様方が知恵を出し合い、これからの協会運営に御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方の御繁栄・御多幸を祈念して年頭の挨拶といたします。



# 島田土木事務所と 島田建設業協会の

## 意見交換会

### が開催されました。

10月22日午後、島田土木事務所会議室において、井ノ口所長以下各課長全員と関係市町村の幹部の方々と、木村会長以下役員理事が一堂に会して、事前に会員から寄せられた意見を整理して個々の意見について限られた時間内にできるだけの意見交換をしました。

10年以上も意見交換会は開催されませんでした、まったく久しぶりの会合のためか、ぎこちなさも次第に打ち解けてきて、次につながるような貴重な意見、提案が交わされ、実りのための肥やしになる会合が持てたと思います、これを機にお互いの立場を理解し、再認識して、より良い土木行政、協会活動ができて個々の業績向上につながる方向に向かおうとする会合でした。

# 島田土木事務所との意見交換会 出席理事感想

## 山田 壽久 理事

去る10月22日には、井ノ口所長はじめ島田土木事務所の幹部の皆様方、そして土木事務所よりお声掛けいただいた近隣4市2町の幹部の皆様にもご同席いただき、大変貴重なお時間を頂き誠にありがとうございました。  
建設業協会からの数多くの質問につきまして、詳しくご回答を頂きありがとうございました。

幅広い業界としての課題についても、直接この様に意見交換会ができました事は、大変ありがたい事でした。  
技術的な諸問題については、土木施工管理技士会との懇談会を開催していただき、誠にありがとうございました。  
建設業界が活発で元気でなければ、若者には当業界を目指してもらえませ

ん。これからも担い手三法をご理解頂き、より良いパートナーとしての強い絆が構築されます様、よろしくお願い申し上げます。

今後とも地域を支える担い手として、技術の研鑽、そして、健全な会社経営に努力して参ります。

これからも発注者・受注者を越えた意見交換会を計画して頂き、情報共有をいただければ幸いです。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 山岸 豊 理事

島田土木事務所はじめ、近隣市町の土木・建築関連の幹部の皆様と業者が一堂に会し、意見交換会が開催されましたことは、今後の建設業務の改善に向けて、大きな意義があったと思います。  
今回は業者の質問に対する回答がほとんどでしたが、今後は行政関係からより一層意義ある意見交換会になるのではないかと思います。

所長からは、「次は、業者のために、もつと踏み込んだ意見交換が出来る会になる事を期待する。」とのお話がございました。

入札をはじめ、書類のやり取りが電子化され、便利ではあるが、発注者と業者の距離が疎遠になっている気がします。

より良い施工が実行出来るようになる為には、コミュニケーションが取れる環境を互いに創り出す事が必要であると思います。

意見交換を重ねることで、発注者と業者とのお互いの立場が理解され、問題が改善されて行くことと思います。



## 鈴木 徹 理事

意見交換会の機会を頂き感謝致します。

当日は所長をはじめ技監・各課長の方々と我々の対談でしたが、先に意見集約した物は現場の声です。本来ならば現場監督と担当職員も同席した方が良かったと思います。

私も数十年前までは現場に出ているので、現場の技術的な問題なら理解できますが、IT関係になるといけません。

そして、役所側の回答も「前向きに対処する」の様な抽象的な表現でしたので、現場担当者が期待する「具体的な答え」には至りませんでした。

しかしながら、初めての意見交換会であり、その意義は大変大きいものだったと思います。

ひとつだけ例をあげますと「書類の簡素化の要望」に対し「役所の立場としては保管する書類を減らす事」であり、業者の立場としたら「手間を減らす要望」をすべきだとアドバイスを頂きました。

ただ要望するのではなく、業者にとつて有益な答えを引き出す様な文章を考えなくてはと実感しました。

また、お互いに胸襟を開き本音の対談ができたので大変有意義でした。  
ある課長さんから「我々は、良い仕事・現場を目指す。現場からの考えを何でも言ってきたほしい。」と前向きな意見をいただきました。

カウンター越しの会話しか出来なくなった現代に、古き良き時代の発注者、受注者の関係だけでなく「共に良いモノを造る」これが本来の姿ではないでしょうか。今後とも定期的に意見交換会の場を設けて頂き、ぜひ市町の職員の方も参加して交流を深め、災害時の協働作業がより速やかに行われる事を願っております。

着手前



工 事 名 平成26年度[第26-I 1614-01号] (一) 静岡朝比奈藤枝線交通環境改善緊急対策事業 (災害防除) 工事 (路側工)

工 事 個 所 藤枝市岡部町宮島地内

工 期 平成27年1月15日～平成27年3月25日

施 工 者 フルカワクリエイティブ株式会社

発 注 者 静岡県島田土木事務所

現場代理人 古川俊介

工 事 概 要

コンクリートブロック積 (練積)	17㎡
アスファルト舗装工	7㎡
防護柵設置工 (ガードレール設置工)	6m
溶融式区画線	6m
板柵	32m



施工状況



完成

コメント  
本工事は、工期も短く急傾斜地での危険な作業でした。安全を最優先しながら最適な作業方法と工程を考え施工し、苦勞しましたが無事完成することが出来ました。

# 現場紹介

着手前



工 事 名 平成26年度川根小学校校舎等建築工事

工 事 個 所 島田市川根町家山地内

工 期 平成26年7月4日～平成27年7月31日

施 工 者 大井建設株式会社

発 注 者 島田市

工 事 概 要

校舎・図書館	
鉄骨造 2階建て	延べ 3,434㎡
屋内運動場	
鉄骨造平屋	延べ 891㎡



完成

屋内運動場



コメント  
同じ建設用地内に「校舎棟」「図書館棟」「体育館棟」の3つを同時に建設する工事であり、工期的に非常に厳しい現場でありましたが、協力業者の頑張りのお陰で無事に工期内完成できました。

着手前



施工状況



完成

コメント

現場条件により、終日片側交互通行での施工を余儀なくされましたが、道路利用者への周知の徹底、粉塵対策を実施した結果、苦情もなく施工完了することが出来ました。

工事名 平成27年度[第27-D7312-01号](主)島田川根線防災・安全交付金(県道橋梁耐震対策)工事(川口橋橋面補修工)

工事箇所 島田市身成地内  
工期 平成27年8月6日～平成27年11月30日

施工者 株式会社 エコワーク  
発注者 静岡県島田土木事務所  
主任技術者 小林 剛

工事概要	舗装工(車道部)	357㎡
	舗装工(歩道部)	97㎡
	伸縮装置取替工(車道部)	23m
	伸縮装置取替工(歩道部)	6m

## 安心・安全な暮らしのために…

着手前



施工状況



完成

コメント

老朽化した舗装を新しくする工事です。工事区間に商業施設や民家が多いため、提案して影響の少ない夜間施行で行いました。工事前にあった段差を解消し、走りやすい道路になりました。

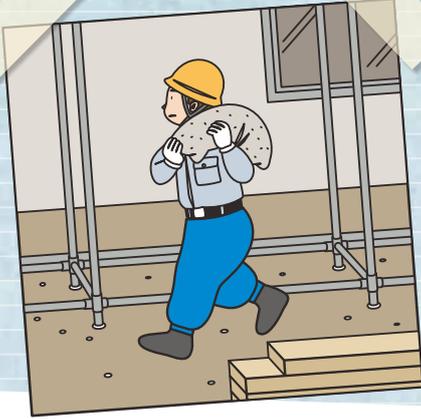
工事名 平成27年度[第26-I 8381-01号](国) 473号舗装補修(道路維持)工事(切削オーバーレー工)

工事箇所 牧之原市菅ヶ谷地内  
工期 平成27年6月22日～平成27年9月30日

施工者 大石建設株式会社  
発注者 静岡県島田土木事務所  
現場代理人 赤松哲也

工事概要	アスファルト舗装工事	
	施工延長	181m
	路面切削	1,270㎡(t=137mm)
	基層	1,270㎡
	表層	1,270㎡

# 言いたい放題



## 人材不足

「建設業を志す若者がいない」と言われて、かなりの年月が経過しました。古くは「3K」、そして「コンクリートから人へ」、最近はまだまた「データ偽装」など、建設業の負のイメージが払しょくされないまま、今日に至っています。

同じ程度の給料なら、空調の利いた職場でライン仕事や事務仕事を選ぶ若者の気持ちも、わからない訳ではありません。

しかし、社会資本整備を担う建設業の素晴らしさや重要性、はたまた日本の建設技術の素晴らしさを広く世間に知ってもらえば、少しは風向きも変わるのではと思います。

現在業績好調のスーパーゼネコンさんには、テレビで建設業のイメージアップのCMをジャンジャン流していただきたいものです。

そうすれば、何年か先には、「建設業を志す若者が増える」かも知れません。

ま、それ以前に、建設業に携わる我々が、生き生き楽しく働けるのに十分な、賃金アップが先かも知れませんが…。

## 女性諸君造ろうじゃないか！

11月20日付の静岡新聞夕刊紙に「けんせつ小町」という見出しが書かれていました。最近ではチェーンソーで木を切る「林業女子」など今までは体力の必要な男性社会の為に女性が活躍していなかった業界にも就労してきています。

建設業界も男性の職場というイメージが強く、男性中心でしたが、建設機械はコンピュータ化され、建設機械の教習所では、女性専用コースも開催しています。

女性が建設現場で働くことにより、会社は環境を整え、3Kと言われた職種が改善され、「きたない」から「きれい」に変わっていく時代もそう遠くないように思われます。

そして、女性も建設現場で働いていること知ってもらえたら、就労者の増加につながるのではないのでしょうか。



## 道路改良工事の諸経費率のアップを

工事の積算は、直接工事費を出してから共通仮設費を率で掛け計算し直接工事に共通仮設費を足して純工事費を出し、それに現場管理費を率で掛け計算して現場管理費をだして純工事費にこれを足して工事原価を出し、これに一般管理費を率で掛け算して一般管理費を出してこれに工事原価を足して工事価格を算出しますが、この率計算は、工事の種類で分類されています。

代表的な例として河川工事、河川道路構造物工事、道路改良工事、海岸工事、舗装工事、公園工事等々有りますが、この工事の経費率を今の順番で見ると安い順に海岸工事、道路改良工事、公園工事、河川工事、河川道路構造物工事、舗装工事となりました。

この経費率の計算は最近見直され少し上げて頂きましたが、なぜ、この順番になったか分かりません。

特に、道路改良工事は、実際に施工してみると他の工事に比べると第三者に隣接して工事を行うため現場の管理者は、仮設や現場管理に費用が掛かります。

また、交通規制の関係上、警察の指導で通勤時間帯を避け路上での作業時間は8:30~16:30まで、他の工事より作業時間の拘束が有り、しかも、工事区間の照明灯や赤色灯が他工事より多く必要です。

少なくとも公園工事よりは、経費率が多くてもいいのではないのでしょうか？



## 何が妥当か

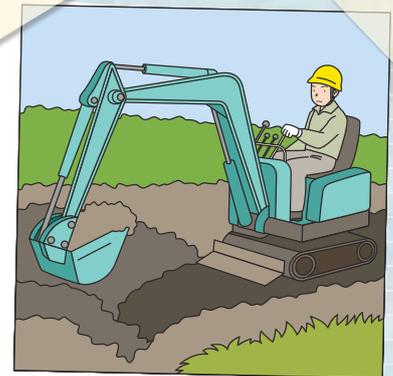
公共工事の妥当な価格だという予定価格から、他社と競うため無理に安くした金額で受注するのが素晴らしいと思われるようですが、よく考えてみてください。建設業者が安く工事を施工したからといって、我々県民・市民が毎月納める税金はいくら安くなりましたか？浮いた予算が我々のお財布の中にどのくらい戻ったのでしょうか？

現在は東北震災復興、東京オリンピックの影響で資材価格の高騰や人材確保に四苦八苦して、建設業者はなるべく赤字を出さない様にすることで精一杯です。

企業が利益が出ない・少ないから税金も少ししか納められず、若い社員は給料が上がらないから不満をもち離職する。業界全体が人手不足になり、労務費が高騰すれば、これまた採算が合わなくなる。企業が倒産すれば税金が減少し不景気が起こる。悪循環とはこのことです。

突然の自然災害等でいざ復旧を！と言う時に、小回りが利く地元業者が潰れて無くなってからでは遅いと思いますが...

上辺だけの知識と数字を見て批判する人たちは、真夏の炎天下で働いたり、真冬の夜間工事などを経験してから発言して欲しいものです。



## 木村紘一会長県知事表彰（産業開発振興功労）受賞

平成27年度 静岡県知事表彰

平成27年11月3日（静岡県庁）



産業開発振興功労

木村紘一（株木村組）



静岡県の発展のために、長年、社会のさまざまな分野のリーダーとして貢献、あるいは地域のために地道な活動を続けてこられた41人9団体の皆さんが、11月3日の文化の日に川勝知事から表彰されました。

木村会長は、永年にわたり建設業に従事し、機械化を推進するとともに、静岡県建設業協会理事等として、地域経済の発展に尽力するなど、建設業界の振興に寄与した功績が認められたものです。

## 永年の地道な努力が評価され「建設マスター」受賞

建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事し、卓越した優秀な技術・技能を持つとともに現場施工管理能力を備え、さらに、後進の指導・育成に多大な貢献と永年の地道な努力が評価された株エコワークの渡邊純也さんが10月9日（東京都港区）に、「平成27年度 優秀施工者 国土交通大臣顕彰」を受賞しました。



受賞者

渡邊純也

（株エコワーク）



## 労働災害防止に貢献した個人、事業場が栄えある受賞



安全で快適な職場づくりを目指し、災害防止活動の強化を図る契機とするため、「第52回全国建設業労働災害防止大会」及び「第42回静岡県建設業労働災害防止大会」が開催されました。

それぞれの大会において、労働災害防止に長きにわたり貢献した個人及び会社及び安全標語の受賞者がめでたく表彰されました。

平成27年度  
本部分安全衛生表彰

平成27年9月10・11日（大阪府）

優良賞

山田寿久社長（株山田組）



平成27年度 支部長表彰

平成27年10月8日（静岡労政会館）

事業場賞

山岸豊社長（山岸建設株）



鈴木徹社長（株鈴木土建）



事業者賞

戸塚康之社長（南アスカエンジニア）  
（大河原建設株推薦）



功労賞

永島正哉（大河原建設株）



梶山 純（株梶山組）



功績賞

塩澤敏夫（株橋本組）



長谷川浩己（株丸川組）



平成27年度  
安全標語支部長表彰

平成27年10月8日（静岡労政会館）

佳作

鈴木満之助（株グロージオ）

安全はひとりひとりの自覚と責任  
みんなで達成 ゼロ災害

## 広報委員会研修旅行記「御江戸 下町を行く 江戸く明治く大正く昭和く平成の旅

今年の広報委員会研修旅行は、11月27日（金）、28日（土）と大都会東京の中でも古き情緒を感じる下町（深川・浅草）を訪れました。協会を8・15分に出発して、最初の目的地深川まで、新東名高速道路く東名高速道路を小型バスに揺られ走る約2時間で東京（深川）に到着した。昔なら島田宿を出発し、日本橋まで52里2町45間（現在の距離204.5km）を6日程歩いて到着するであろう所を現代は1/77の時間で行き来が出来るようになりました。文明つ



て凄いですね。これからも、交通網の発達や技術開発で人の移動がもつと短時間で出来るようになるでしょうね。到着後、お昼には門前仲町駅の富岡八幡宮の境内にある「深川宿」というお店で、農林水産省郷土料理100選のひとつ、江戸時代に生まれた「深川めし」を堪能致しました。ざっくりと切った葱と生のあさりを味噌で煮込んで熱いご飯にぶっつけた、漁師の知恵の一品。お腹をいっぱいにした後は下町情緒が残る、深川を探索。境内にあるお店から出て、江戸勧進相撲発祥の地として有名な富岡八幡宮を参拝。富岡八幡宮は応神天皇（菅田別命）を御祭神とし、寛永4年（1627年）、当時永代島と呼ばれていた現在地に御神託により創建されました。世に「深川の八幡様」と親しまれ、今も昔も変わらぬ信仰を集める「江戸最大の八幡様」だそうです。その後、江戸・明治・大正時代から続く清澄庭園で園内を周遊しホット一息の町並みを実物大で再

訪れた、「深川江戸資料館」を訪れました。下町を散策しながら、見て触れてその当時を学ぶことが出来ました。歩き疲れたところで、下町から下町へバスに揺られ浅草へ。浅草寺雷門とおりにあるホテルにチェックイン。しばし、休憩。体を休めた後、夕方4時過ぎに「笑う門には福来ると!!」という事で、萩本欽一やビートたけしなどを生み出した、お笑いの殿堂、東京の「落語定席」のひとつ「浅草演芸ホール」にて落語を古典芸能「落語」を楽しみました。初めは、つまらないだろうと思っていたメンバーも最後まで楽しんでいたとかいいます。ちなみに落語は、江戸時代の日本で成立し、現在まで伝承されている伝統的な話芸の一



種である。最後に「落ち（サゲ）」がつくことをひとつの特徴としてきた経緯があり、「落とせばなし」略して「嘸（はなし）」ともいうそうです。最後まで聞くと夜の9時になってしまったため、楽しみ惜しい中、広報の研修旅行のお楽しみの第一番である、美味しい料理へ、いざ！という事で夜の幻想的な「浅草寺」と現在の最先端ライトアップされた「東京スカイツリー」を同時に見る贅沢を堪能しつつ、「浅草今半別館」にて絶品のすき焼きを頂きました。「今半」は明治二十八年浅草の地に創業し、戦前に暖簾分けをして現在に至るそうです。美味しいお料理だけでなく、戦後再建した桃山時代の彫刻を模した数奇屋造りのお部屋と、お庭も風情がありました。楽しい宴会を終えたメンバーは、浅草にいながら平成の現代の夜の街を探索して午前様でホテルに戻ったようです。



翌日、前日の疲れも残る中、朝一番で「江戸く明治く大正く昭和」の徳川家康が江戸に入府してから約400年を一度に体験できる「東京都江戸東京博物館」を訪ねました。博物館は、江戸東京の歴史と文化をふりかえり、未来の都市と生活を考える場として平成5年に開館した高床式の倉をイメージしたユニークな建物で、1日いても足りないくらいでした。東京の歴史を振り返ったあとは、平成の東京の町並みを水の上から視察。浅草から日の出橋まで東京都観光汽船（水上バス）に乗って、隅田川を下りました。船から見ると東京スカイツリーからお台場の近代的な東京もまた、いいものです。



さてさて、そうこうしている内にお昼の時間となり、またまた、美味しいものを求めて築地へ。マグロのせり最高落札額で有名な「すしざんまい」でお寿司を頂きまさに「すしざんまい」。昼食後は、築地をぶらりと散歩。その後、銀座でなかなか手に入ることのない空也のものを、帰路につきました。今回の江戸く明治く大正く昭和く平成の旅も、雄大な富士山を眺めながら終わったのでした。最後のおまけに、東名高速道路足柄SAにて平成の文化「エヴァンゲリオン」を拝見したのでした。



防災委員会研修旅行記  
 〓 古都奈良へふたたび 〓

前回、防災委員会で奈良を訪れたのは、平成21年の11月なので、約6年ぶりの古都再探訪となりました。

今回、最初に訪れたのは「法隆寺」。世界最古の木造建築にして、日本最初の世界文化遺産第一号というのはご存知でしょうか？中でも五重塔は現存する最も古い建物であり、千年以上もたっているのに、その威風堂々とした姿に感無量。次は、法隆寺から歩いて「中宮寺」の「本尊菩薩半跏像」の微笑を見学。この本尊菩薩半跏像は「ほほえん」でいるんです。

この像は、エジプトのスフィンクス、レオナルド・ダ・ヴィンチ作のモナリザと並んで、「世界の三つの微笑像」とも呼ばれているようで、確かにその顔は笑みを浮かべており癒されたのですが、癒された以上にエジプトのスフィンクス、あれは微笑んでいたのか!?と知った時、内心驚いてしまいました。

驚きの次は「興福寺」、ここでは阿修羅像をはじめ、金剛力士立像や千手観音立像など、多くの国宝を堪能しました。

二日目は明日香村を探訪。今回初めて高松塚古墳に行きました。

現在高松塚古墳壁画は、古墳から近くの仮設修理施設に移動され修理中でしたが、近くにある「高松塚壁画館」で、古墳内部を原寸・原色で再現した石槨

の模型や、模写された壁画を観ることができました。

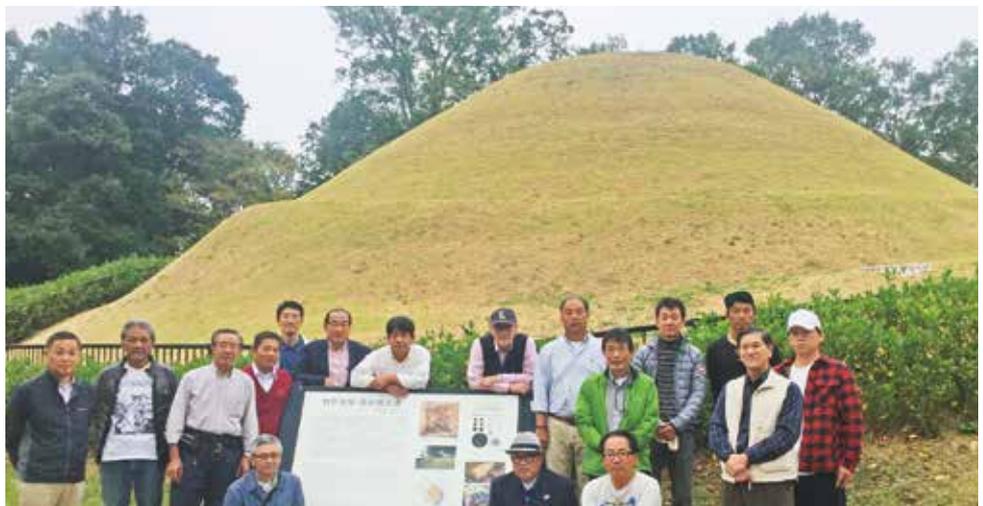
そして最後に、「石舞台古墳」と「飛鳥寺」を再訪し、ふたたび飛鳥時代を満喫することができました。

最後に、今回の研修旅行でお世話になったY観光の博学バスガイドさんのおかげで、車中色々なことを勉強させてもらいました。

例えば、五重塔の「塔」の語源は、サンスクリット語で「ストゥーパ」という「積み上げる」という意味からきていて、「ストゥーパ」の「スト」が省略され、真ん中の「トゥ」が「塔」となったことなど、何も知らないで見学するよりはるかにためになりました。

3回目!?の奈良探訪まで防災委員を続けているかわかりませんが、機会があればまた同じバスガイドさんに、色々の旅先のことについて、教えていただきたいと思う次第です。

(T・O)



# 災防日誌

災害防止への取り組み

## 偽造問題

去年、杭打ちの偽装問題が表面化し日本中で問題になりましたが、10年程前にも建築構造計算書偽造の姉齒事件がありました。しかしながら、いまだこの業界は何も変わっていないように見えます。

15年に亘り災害防止の指導員をして、各現場で安全管理書類等の記録の確認もしてきていますが、日々の安全巡視日報、重機点検記録類等々、記録化（偽造）のみであると思えるものが非常に目立ちます。

日々、現場担当者は時間に追われていることも事実ですが、問題の一つに書類さえ整えてあれば良いと意識している現場担当者が多くいるように見えます。

また、書類が整備・保管されていれば、検査が合格になるシステム自体にも問題があると感じています。

昨今の建設業全体は、特に書類至上主義になっており、また発注者が汗を流して現場を見て回ることが非常に少なくなっているようにも見えます。



現場の書類など騙そうと思えば作成できてしまいます。

生きている書類（記録類）を、時間をかけずに現場で実践でき簡単に記録化できるようにするため、安全管理類の様式類を、いかにポイントをつかんで作成するかが重要になるかと思えます。

現場をパトロールすると重機点検表を活用し点検した場合、1時間位必要とするものも多くあります。日々実践していくのは無理ですね。

安全管理には多くのコストと時間を必要としますが、工事に関係する発注者および受注者すべての人に対して、書類至上主義から脱却する根本的な意識改革がない限り、書類偽造はなくなるのではないのでしょうか。

発注者側の監督員も常に現場を回り作成された書類確認ではなく、現場で「施工プロセス」を目で見て確認することも必要であると感じています。（M・K）



郷に入れば：

流れ

今（十一月十九日）、巷では「ボジョレーヌーボー」で大騒ぎ。今年のワインの出来を占うとか言って、テイステイングをされている方もあろうかと思いますが、ここは日本ですので、あえて私は日本酒の話題です。

この時期、日本酒も新酒が出回り始めます。秋の行楽シーズン、私も北陸を始め国内に出かけては、様々な土地で地酒を楽しんでいます。そして、「これは美味しい」と気に入って買って、家に帰って飲んでみると、不思議と美味しくありません。やはり、その土地の料理・その土地の空気と一緒に味わって初めて、地酒は楽しむものなのですね。まさしく「郷に入れば、郷に従え」です。

我が志太地区にも、日本に誇れる銘酒がたくさんあります。「喜久酔」「志太泉」「初亀」「磯自慢」等々。秋の夜長、じっくり日本酒を味わいたいものです。ま、くれぐれも飲み過ぎに注意ですが…。

F・A



# 協会だより ～協会のうごき～



## ●理事会

第3回会議 10月22日(木)島田土木事務所

- ・島田土木事務所及び県交通基盤部との意見交換会について
- ・静岡国道事務所長及び浜松河川国道事務所長への要望書の提出について
- ・役員改選日程について
- ・東日本建設業保証(株)の助成金について
- ・県道「静岡空港線」の美化運動の提案について
- ・静岡県建設業協会第5回及び第6回理事会の概要について

## ●正副会長会議

第7回会議 10月8日(木)静岡労政会館

- ・島田土木事務所との意見交換会について
- ・静岡空港線の除草作業について
- ・東日本建設業保証(株)の助成金について
- ・役員及び委員会委員の改選について
- ・協会事業の運営について

第8回会議 12月21日(月)当協会

- ・全建表彰及び県協会長表彰受賞者の推薦について
- ・役員等の改選について
- ・新年賀詞交歓会の開催について
- ・協会事業の運営について

## ●総務委員会

国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長への要望書提出

- ・平成27年11月24日(火)正副会長ほか

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長への要望書提出

- ・平成27年12月7日(月)正副会長ほか

年末の交通安全県民運動への参加

- ・平成27年12月15日(火)～31日(木) 全会員

## ●広報委員会

第7回委員会 10月9日(金)当協会

- ・広報誌VOL.146号の企画

第8回委員会 12月4日(金) 当協会

- ・広報誌VOL.146号の校正

第9回委員会 12月11日(金) 当協会

- ・広報誌VOL.146号の最終校正

視察研修

- ・11月27日(金)～28日(土)「東京門前仲町・深川・浅草」

## ●土木・建築委員会

島田土木事務所等との意見交換会

- ・平成27年10月22日(木)

島田土木事務所4階 大会議室

## ●環境・災害対策委員会

災害対策基本法に基づく雪害対応訓練

- ・平成27年11月27日(金)

富士教育訓練センター・道の駅朝霧高原駐車場

第2回災害対策用機械操作訓練

(国土交通省静岡国道事務所・静岡河川事務所共催)

- ・平成27年12月2日(水)

安倍川左岸河川敷(静岡市葵区与一5丁目地先)

静岡空港航行不能航空機撤去に関する勉強会

- ・平成27年12月8日(火)

富士山静岡空港ターミナルビル 2階第1会議室

## ●建防災島田分会

安全パトロール

- ・第6回 10月14日(木)5地区

- ・第7回 11月19日(木)5地区

11月30日(月)1地区

- ・第8回 12月16日(水)5地区

第42回静岡県建設業労働災害防止大会への参加

- ・10月8日(木)静岡労政会館

視察研修

- ・10月23日(金)～24日(土)「奈良県奈良と斑鳩の里」

## ●会員の届出事項の変更

会社名	変更事項	変更前	変更後	変更年月日
カネ正建設(株)	代表者	飯田 尚司	飯田 忠史	平成27年9月1日

## ●各種催事等

10月23日(金) 東海四県ブロック会議 (静岡市)

(グランディエールブケトーカイ)

10月29日(木) 中部地方整備局との意見交換会

(グランディエールブケトーカイ)

11月30日(月) 「地域の暮らしを守り、未来を創る。

『静岡県建設産業の主張2015』

(グランシップ)

## ●今後の予定

- ・静岡県建設産業団体連合会「賀詞交歓会」

日 時 平成28年1月12日(火)12:00～

場 所 グランディエールブケトーカイ

- ・一般社団法人島田建設業協会「平成28年 新年賀詞交歓会」

日 時 平成28年1月13日(水)17:00～

場 所 藤枝四川飯店&ガーデンズ

- ・静岡県交通基盤部幹部との意見交換会

日 時 平成28年1月28日(木)

場 所 静岡県建設業会館

### 【表紙解説】

今年で21回目を迎えた、島田市大代地区の村おこしグループ「王子田会」の製作する“ジャンボ干支”です。地元に戻ってくる人を迎え、交通安全を祈願する申のオブジェです。人気ラグビー選手をモチーフにした猿も登場しました。

